



岡田 聡 議員

2期目の施政方針は？

町長

安心して暮らせる まちづくりに取り組む

【岡田】森田町政2期目のスタートとなった。保育料の無償化は。

【町長】国の子ども・子育て支援新制度と一体として、平成27年度からの実施を期待している。

【岡田】大山恵みの里公社の経営安定化策は。

【町長】町内産の新鮮な野菜類は大山ブランドとしての評価が高い。需給調整と出荷量・出荷品目の拡大を考える。

【岡田】大山恵みの里プランの民間活力の活用は。

【町長】計画は町の経済活性化計画であり、事業者や生産者の積極的な参画と実践、努力

が不可欠である。

【岡田】人権尊重のまちづくりのさらなる工夫は。

【町長】さらに学習・啓発活動を進めていく。

【岡田】津波避難経路などの点検整備は。

【町長】アンケート調査の結果をもとに、海拔表示の追加設置や避難経路の危険箇所の確認と整備を進める。

【岡田】雇用の創出は。

【町長】独自の企業誘致活動や雇用創出支援交付金制度の創設などで行う。



雇用創出に期待する企業誘致

詐欺にあわない 啓発活動は？

町長

早めの情報提供で 未然に防ぐ



遠藤 幸子 議員

【遠藤】消費者トラブルは多様化している。深刻な被害も発生しているが、気軽に相談できる場所はあるか。

【町長】県下では、NPO法人に専門員を委託、窓口を充実させる取り組みが行われている。西伯郡の4つの町村でも専門員を置いて、窓口を充実させる考えで、協議・検討している。



相談窓口のある住民生活課

【遠藤】被害の情報提供や啓発活動は十分か。

【町長】巧妙な手口の被害事例もあるので、早い情報提供で被害防止をはかる。福祉介護課・社会福祉協議会・集落のいきいきサロンなど、関係者の協力をえながら、情報提供をする。